

	一般的名称	報告の概要
674	フルコナゾール	健康男性16例を対象とした非盲検非無作為化研究において、フルコナゾールとbifeprunoxの併用によりbifeprunoxのAUCやCmaxが増加した。
675	エポエチン α (遺伝子組換え)	化学療法または放射線療法を受けていない癌を有する貧血患者1473例を対象とした多施設無作為化二重盲検プラセボ対照試験において、ダルベポエチン群で生存期間の短縮が認められた。
676	ダルベポエチン アルファ (遺伝子組換え)	化学療法または放射線療法を受けていない癌を有する貧血患者1473例を対象とした多施設無作為化二重盲検プラセボ対照試験において、ダルベポエチン群で生存期間の短縮が認められた。
677	リツキシマブ (遺伝子組換え)	成人リンパ腫患者338例のうち、移植前後にリツキシマブを投与した群において、ウイルス感染が4例認められ、リツキシマブ非投与群では認められなかった。
678	ランソプラゾール	プロトンポンプ阻害剤投与により、カンピロバクター及びサルモネラ胃腸炎の感染リスクが高まることが示唆された。
679	リセドロン酸ナトリウム水和物	患者データベースを用いて65歳以上の心疾患を有する無腐性骨壊死患者196例、コントロール1960例のケースコントロール研究において、ビスホスホネート製剤投与により無腐性骨壊死のリスクが高まることが示唆された。
680	ヨウ化ナトリウム (131I)	放射性ヨード治療を受けた甲状腺機能亢進症患者2739例とコントロール2739例を対象としたコホート研究において、前群で脳血管疾患による死亡率とがんによる死亡率(特に胃癌)が上昇することが示唆された。
681	プロピオン酸ベクロメタゾン	妊娠初期にコルチコステロイドを使用していた母親から生まれた児において、口唇口蓋裂となるリスクが高まることが示唆された。
682	カベルゴリン	カベルゴリン長期投与中のプロラクチノーマ患者において、健常者と比較すると心臓弁膜症のリスクが増加することが示唆された。
683	塩酸バンコマイシン	ボツワナのさまざまな施設に所属する200例の食品取扱者から分離された204株の黄色ブドウ球菌株のうち、9株がバンコマイシン耐性を示した。
684	塩酸バンコマイシン	デンマーク、フィンランド、ノルウェー、スウェーデンの16施設の患者から分離された黄色ブドウ球菌株からバンコマイシンに対するMICが8mg/mLのものが2件報告された。
685	塩酸バンコマイシン	エジプトの国立がん研究所で血液がん及び固形がん患者から分離された黄色ブドウ球菌の15.5%がバンコマイシン耐性、3.5%が中等度耐性であった。
686	レボフロキサシン	キノロン製剤を投与された心臓移植患者149例の診療記録の調査において、14例にアキレス腱障害が認められ、うち3例が腱断裂、8例が両側性腱障害であった。危険因子は腎機能障害、移植から治療までの期間の延長であった。
687	オメプラゾール	冠動脈ステント留置後にアスピリンおよびクロピドグレルを投与している患者126名において、オメプラゾンの併用により抗血小板作用が現弱することが示唆された。
688	エポエチン β (遺伝子組換え)	腎性全身性線維症患者8例とコントロール24例を対象としたケースコントロール研究において、エリスロポエチンの投与がケース群で有意に多かった。
689	インドメタシン	早期出産児にインドメタシンを投与すると、未熟児網膜症の発現頻度が高まることが示唆された。